

## 3DNest 株式会社

3D-VR カメラの製造・販売と撮影サービスを行う中国の 3DNest(众趣(北京)科技有限公司)は 2018 年 2 月、日本市場の開拓を目的に茨城県つくば市に日本法人を設立した。同社が独自に開発した 3D スキャンカメラで空間を 360 度回転しながら写真を撮影すると同時に、空間情報を瞬時に読み取ることが可能なため、低コスト・短時間でリアルな空間モデルを 3D-VR で再現できるのが強みだ。日本進出の経緯と今後の事業展開について日本法人社長の張 顕赫(ちょう けんかく)氏に聞いた。

### 3D-VR の空間モデルを短時間・低コストで提供

2014 年に中国北京で設立された 3DNest は 360 度の空間撮影が可能な 3D-VR カメラの製造・販売と撮影サービス、3D-VR のモデル作成を行う。同社の 3D スキャンカメラで撮影したデータは、独自に開発したクラウド上のプログラムで自動処理され、素早く 3D-VR の空間モデルとしてオンライン上にアップロードしシェアすることができる。

3D-VR カメラを製造するメーカーは米国にも 1 社あるが、3DNest はカメラの販売のみならず、3D-VR の撮影サービスをビジネスの中心に置き、不動産業界など顧客ニーズに合わせた製品開発、サービスを提供している。CG でも 3D-VR のデータ作成はできるがエンジニアなどの人手が必要となり、コストと時間がかかる。それに対し、同社は 3D スキャンカメラで撮影したデータをクラウド上のプログラムで自動的に 3D モデリング化できるため、3D-VR のモデルを短時間・低コストで提供できる。従来の技術では 100 平米の部屋の空間撮影と 3D-VR のモデル作成に 3~4 日、100 万円以上かかるのが相場だが、同社は 4 時間で 3 万円程度に抑えられる。



同社の 3D-VR モデル事例(不動産)

同社はこの画期的な技術によって、本社を置く北京のほか、中国全土にビジネスを拡大し、サービスを

展開している。顧客は、臨場感あふれる 3D-VR で部屋の間取りや室内の様子をオンライン上で体感できるため、効率的な部屋探しにつなげたい不動産会社や、宿泊客に事前に部屋を確認できるサービスを提供したいホテル・民宿、バーチャルオンライン展示をしたい美術館など多岐にわたる。Intel や IKEA 等のグローバル企業、中国の不動産大手の華住集団(ファオズ)や EC サイト(C2C の淘宝网(タオバオワン)、B2C の天猫(Tmall))を運営するアリババグループも顧客に名を連ねる。創業時に 5 人だった社員は、現在、北京に 50 人の技術者を抱えるまでに成長。2017 年にはシンガポールにも現地法人を設立した。



### 技術系人材の採用を視野につくばに拠点設立

同社は 2018 年 2 月、日本法人の 3DNest 株式会社を茨城県つくば市に設立した。つくばは東京と比較しオフィス賃料が安く、筑波大学の優秀な人材を獲得しやすいと考えたためだ。入居したシェアオフィスは筑波大学の隣に立地しており、実際に 1 名筑波大学を卒業した技術系の中国人留学生を採用した。日本法人代表の張社長自身も 10 年前に留学生として来日し、日本語はもちろん、日本文化にも精通している。

張社長は、3DNest が日本進出を決めた理由として、世界に名立たる大手企業の集積、発展したインフラ、訪日外国人観光客の増加に伴う不動産・ホテル業界等での同社技術に対する需要の高まりを挙げた。「海外に進出しようと考えた時、日本は世界市場への

ゲートウェイであり進出した方がいいと考えた」。日本で  
の事業拡大のため、東京にも拠点を設立し、2019年  
2月末までに大阪にもオフィスを構える予定だ。

#### 日本の外国人起業家コンテストで優勝し、顧客開拓

日本に進出して一番苦労したのは日本にあまり人脈がない中で営業しなければいけなかったことだという。そうした中、同社は2018年7月、東京スター銀行が主催した「外国人起業家ビジネスコンテスト」で優勝した。張社長は「日本での人脈を作る目的で応募したが思いがけず優勝でき、テレビにも取り上げていただいた。東京スター銀行からは優勝賞金をいただき、弊社の技術が合う日本企業を複数紹介してもらい、とても助かった」と語った。優勝後、複数の企業から引き合いがあり、同社の技術の導入に向けて商談が進んでいるという。

現在日本では、中国系の不動産会社がすでに同社の技術を導入し、中国人投資家向けにウェブサイト  
で来日しなくても日本の物件を3Dで確認できるようにし、他社との差別化を図っているという。最近では日本の病院や学校、飲食店などからもウェブサイトでの宣伝に使いたいと問い合わせがあり、関西圏の民宿の需要も高いという。

#### 自社の技術で人々の生活を変えたい

中国では、不動産会社、民宿、美術館、工場、ECサイトなど、様々な業界で同社の3D-VRが導入されている。この技術によって企業間のつながりをつくり、人々の生活をより良く変えていきたいと張社長は語った。例えば、観光地の風景の3D化やオンライン上での学校の3Dオープンキャンパス、製品の背景情報とし

てその製品が作られている工場を3Dで紹介するなど、すでに中国で始まっているプロジェクトもある。「日本でマンションの販売や賃貸に3D-VRを使ってもらえたら、今後、物件を見る習慣が変わります。」

現在は中国で開発・製造されたカメラを輸入し、日本で事業展開しているが、日本市場向けにさらに技術をローカライズしていきたい。そのためにも開発に係る人材の採用も積極的に行いたいと張氏は語る。

#### ジェットロのサポート

3DNestの日本拠点設立に際し、ジェットロはIBSC  
テンポラリーオフィスの賃与、サービスプロバイダ(税理士、行政書士、銀行)の紹介を行った。

張社長は「登記手続きや銀行の紹介など様々な支援を受けた。特にジェットロのテンポラリーオフィスを利用でき、その後入居するオフィスを紹介いただいたことは大変助かった。最初はジェットロに対してあまり認識がなかったのが正直こんなにも助かるとは思ってなかったが、本当にジェットロと出会ってよかった。今後も日本企業と出会う機会を設けてほしい」と語った。最後に、張社長は「中国で成功した我々のビジネスモデルをぜひ日本企業に活用してもらいたい」と語った。

(2018年8月取材)



(3DNest 日本法人の張社長と同社の3Dスキャンカメラ)

## 同社沿革

- 2014年 4月 中国・北京にて3DNest(众趣(北京)科技有限公司)設立
- 2018年 2月 茨城県に3DNest株式会社を設立
- 2018年 7月 東京都に東京オフィスを設立

## 3DNest 株式会社

---

設立: 2018年2月  
事業概要: 3D-VRカメラの製造・販売、撮影サービスと3Dデータの提供  
資本金: 500万円  
親会社: 3DNest(众趣(北京)科技有限公司)  
住所: (本社) 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-30-14 天翔代々木 ANNEX104号室  
(営業拠点) 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 2-16-8  
URL: <http://3dnest.co.jp/>

## ジェトロの支援

---

- テンポラリーオフィスの賃与
- サービスプロバイダーの紹介 (行政書士、税理士、銀行、不動産会社)
- ビザ取得、労務にかかるコンサルテーション